

# 西南学院小学校 学校長メッセージ

## 「学校通信 Wings 2026 年 6 月号」



ただ、神の国をもとめなさい。(ルカによる福音書 12 章 31 節)

5 月の終わりに、嬉しいお便りとプレゼントが学校に届きました。

この度、私の勤務するこぐま社から絵巻絵本「虫」(タダサトシ作)を刊行いたしました。絵巻絵本は、通常の絵本と違い、折りたたんだページを広げてみる絵本です。今回の「虫」は広げると、全長 2.8 メートルの大パノラマ画面となります。

季節と時間の流れにそって、約 140 種類の虫たちが生き生きと躍動する様子が、美しく精緻に描かれています。

いつ、どんな場所でどの虫に出会えるかが、日本の里山を背景に一望できるので、虫好きの子どもには、きっと喜んでもらえるのではないかと思います。

きっと、西南学院にも虫好きの子がいるのではないかと思います、献本させていただきます。ご活用いただければ幸いです。

こぐま社 佐藤 慎

昨年 11 月には、こぐま社の 60 周年を記念して復刻された「ほしのひかったそのばんに」という美しい深紅の表紙の絵本が贈られてきたことをお伝えしたのですが、覚えていらっしゃる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。こぐま社から出されている絵本には、「こぐまちゃん」や「11 ぴきのねこ」「わたしのワンピース」などがありますが、どの本も幼い子どもたちの心の成長を豊かにしてくれるものばかりです。

今回贈られてきた「虫」の絵本には言葉はありませんが、今まで気づかなかった自分の周りに広がる世界や命に目を向けるきっかけにもなることでしょう。大人が見ても楽しめる絵巻絵本です。図書館で貸出されるのを楽しみにしてください。

ツイタもんでも既にお知らせいたしました。6 月 22 日(月)の教育研究会では、本校図書館司書の西田晋慈が、「子どもの読書に寄り添う～読書の大切さと親にできること～」と題して講演をいたします。全学年の保護者対象で行われます。小学生のときに、いかに読書する習慣をつけることができるかが、これからの子どもたちの成長にとって本当に大切になってきます。〈親にできること〉は、どんなことでしょうか。ご一緒に考えてみませんか。

(文責 黒木 佐幸)